

オジロワシ（タカ科） 全長 雄80センチ・雌95センチ

国の天然記念物と絶滅危惧Ⅱ類に指定されるオジロワシが、毎年大仙市内に飛来していることはあまり知られていません。

今シーズンも、雄物川と玉川の合流点付近につがいと思われる2羽が現れました。

この場所は、12月ごろから春までの期間は人間がほとんど近づくことがなく、警戒心の強いオジロワシも安心して過ごせる環境となっています。



名前の由来となった真っ白な尾羽は美しかった。

雄物川からせり上がる急斜面を地元では「ナダラ」と呼んでいますが、ここが安全な休息地であり夜間のお休み所でもあるようです。



雄の体は雌よりもやや小さい。



雌の方は頭から胸のあたりまでが白っぽく、完全な成鳥でした。

今回飛来した2羽のオジロワシはとても仲が良く、時々あつあつの光景も見られました。



仲良く並んで何を見つめているのでしょうか。



こんな近くで、なにをする？

互いの絆を深めながら3月上旬頃まで滞在し、再び遥か遠いロシアの繁殖地に旅立って行くことでしょう。